

定期調査報告書の 建築物に附属するブロック塀等の記入方法について (記入例)

塀等がある場合

報告書 第二面の備考欄
塀について種別・おおまかな位置を調査結果に関わらず記載。(場所がわかるようにすること)※参照

報告書 第二面 建築物及びその敷地に関する事項

7. 備考	敷地内に塀有り 組積造の塀・・・建築物の北東・南西 組積造の塀・・・建築物の周囲（北側を除く） 補強コンクリートブロック造の塀・・・建築物の北側
-------	---

調査結果表-1 (指摘無し以外の場合)

番号	調査項目	調査結果	担当調査者番号	特記事項の有無
1	敷地及び地盤			
(6)	塀 組積造の塀又は補強コンクリートブロック造の塀等の耐震対策の状況	○	○	1 ○
(7)	組積造の塀又は補強コンクリートブロック造の塀等の劣化及び損傷の状況	○		1.2 ○

「要是正(既存不適格)」の場合必ず「特記事項の有無」欄にも、○を入れ、指摘内容を調査結果表5-1,2へ記載する

調査結果表-5-1 (要是正の場合) ⇒従来どおり、図面に記載し写真を添付

番号	調査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善(予定)年月
1(7)	組積造の塀又は補強コンクリートブロック造の塀等の劣化及び損傷の状況	大きく傾き亀裂が生じている。	撤去する。	H30年6月

報告書 調査結果表-5-2 (既存不適格) ⇒従来どおり、図面に記載

番号	調査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善(予定)年月
1(6)	組積造の塀又は補強コンクリートブロック造の塀等の耐震対策の状況	コンクリートブロック塀に控壁がない。(昭和46年1月より前に施工されている)	安全性を確認した上で改修工事をする。	H30年7月

報告書 第二面の備考欄と同じ内容を記載

定期報告概要書 第二面

【7.備考】

敷地内に塀有り
組積造の塀・・・建築物の北東・南西
組積造の塀・・・建築物の周囲（北側を除く）
補強コンクリートブロック造の塀・・・建築物の北側

【参考】

□ 塀等がない場合

報告書 調査結果表-1

番号	調査項目	調査結果			担当調査者番号	特記事項の有無
		指摘無し	要是正			
			既存不適格			
1	敷地及び地盤					
(6)	塀 組積造の塀又は補強コンクリートブロック造の塀等の耐震対策の状況	-				塀がない場合のみ「-」を記入する
(7)	組積造の塀又は補強コンクリートブロック造の塀等の劣化及び損傷の状況	-				

- ※ 塀等がある場合の表現 具体例
(調査した塀を把握しやすい表現としてください。)
- ① 組積造の塀・・・飲食店の北東・南西
 - ② 組積造の塀・・・病院の周囲（北側を除く）
 - ③ 補強コンクリートブロック造の塀・・・1号棟の北側

